

THE HEKIKAI SHINKIN BANK
へきしん 2013年度半期ディスクロージャー

平成25年4月1日－平成25年9月30日

地域経済の 成長・発展のために。



碧海信用金庫

理事長 **福田雅美**



当金庫の概要 (平成25年9月末現在)

創業	昭和25年10月25日
本店所在地	安城市御幸本町15番1号
総資産	1兆8,777億円
預金	1兆6,929億円
貸出金	9,134億円
出資金	12億35百万円
会員数	73,082人
店舗数	75店舗(うち出張所1カ所)
店舗外ATMコーナー	55カ所(共同ATMコーナー含む)
役員数	1,335人
自己資本比率	19.98%(単体)

JCR格付

A+

平成25年10月取得

へきしんは、
(株)日本格付研究所(JCR)より、
「A+」の評価を得ています。

※へきしんの「格付事由」については、
JCRホームページ (<http://www.jcr.co.jp>) をご覧ください。
※JCR格付は取得後1年ごとに見直しが行われます。

基本方針

中小企業並びに国民大衆の地域金融機関として
地域経済振興のため貢献する。

■本資料に掲載している計数は、特に表示のない限り、原則として単位未満を切り捨てて表示しています。

■本誌に掲載している計数については、会計監査人の監査を受けていません。

平素より「へきしん」をお引き立ていただき、厚く御礼申し上げます。

本年度も、私ども「へきしん」についてご理解を一層深めていただきますよう、「へきしん2013年度半期ディスクロージャー」を作成いたしました。是非、ご一読くださいますようお願い申し上げます。

本年度前半のわが国の経済は、円高是正や株価回復など、いわゆるアベノミクスといわれる「3本の矢」に基づく政策の効果により、景況感や消費者マインドが改善し、長引くデフレからの脱却も見え始めてきました。こうした経済環境の下、平成25年度は「第7次中期経営計画(3カ年)」の2年目の年として計画のテーマである「お客様第一主義の徹底」を基本に「①内部管理態勢の強化」、「②課題解決型金融の推進」、「③CSR経営の推進」、「④収益力の強化」、「⑤人材の戦略的な育成」の5つの重点課題に取り組んでまいりました。その

結果、預金、貸出金ともに順調に増加し、安定した収益を計上することができました。これもひとえに皆さまのご支援の賜と深く感謝申し上げます。

日本経済が緩やかに回復している中、当地域の経済も製造業を中心に回復基調にありますが、中小企業への波及はまだ先とみられ、我々地域金融機関の果たすべき役割は大きなものであると考えております。当金庫では、お客様目線に立った金融サービスの提供やお客様の課題解決を積極的に支援することにより、地域の皆さまとともに成長・発展することを目指し、役職員一丸となって地域金融機関としての使命を果たしてまいります。

今後とも、皆さまのご支援、ご愛顧を賜りますよう心からお願い申し上げます。

平成25年11月

CONTENTS

ごあいさつ		不良債権の状況	9
へきしんと地域社会	2	財務諸表	10
へきしんのCSR		自己資本比率	12
環境・地域貢献への取り組み	4	時価情報	13
お客さま満足度向上への取り組み	5	パーゼルIIへの取り組み	14
地域経済活性化への取り組み	6	トピックス	20
地域密着型金融推進計画の取組状況	7	店舗一覧	21
業績ハイライト	8		

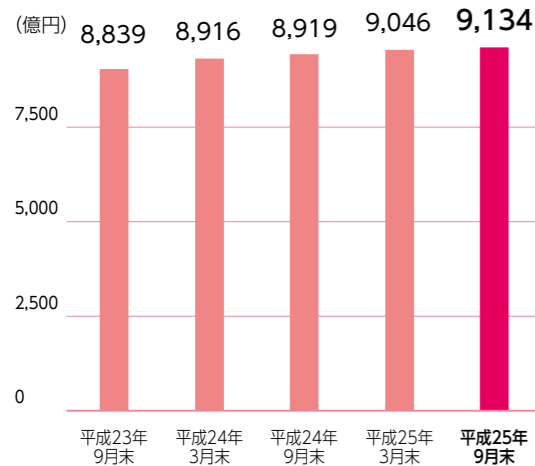
へきしんと地域社会

へきしんは、お客様目線に立った金融サービスの充実に取り組み、皆さまの「ファースト・コール・バンク」として「もっとも身近で、もっとも頼りになる信用金庫」を目指しています。地域の皆さまからお預かりした大切なご預金は、地域で資金を必要とする皆さまに幅広くご融資させていただくことにより、地域の成長・発展のお役に立ちたいと考えています。

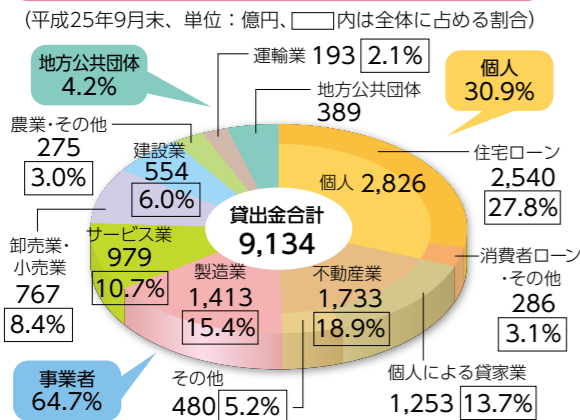
地域の皆さまへのご融資

平成25年度上半期は、事業者向けの貸出金および個人向け貸出金とともに増加しました。その結果、平成25年9月末の貸出金残高は9,134億円(平成25年3月末比88億円増加)となりました。

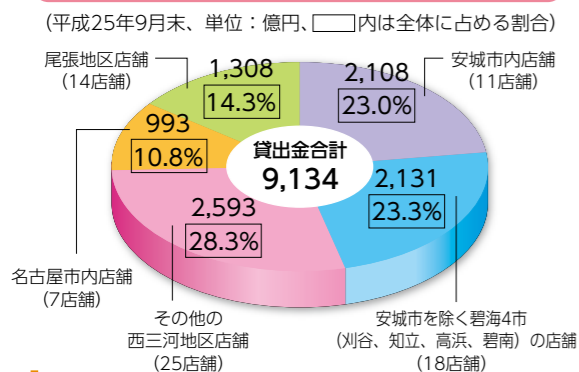
貸出金残高の推移



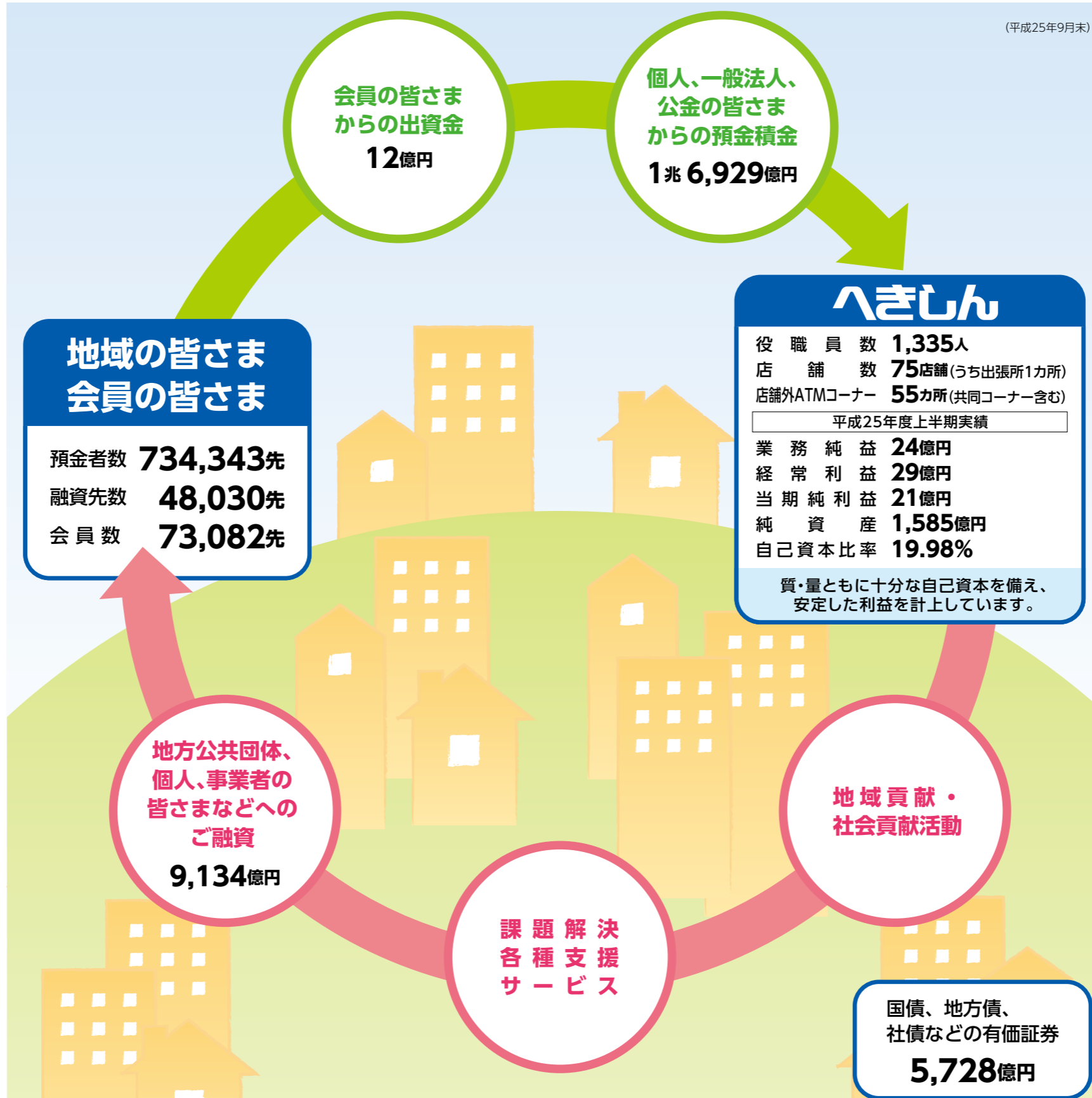
業種別貸出金残高



営業店舗地区別貸出金残高



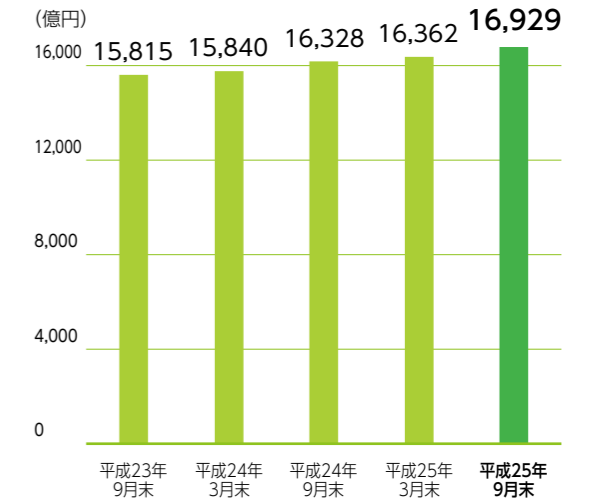
(平成25年9月末)



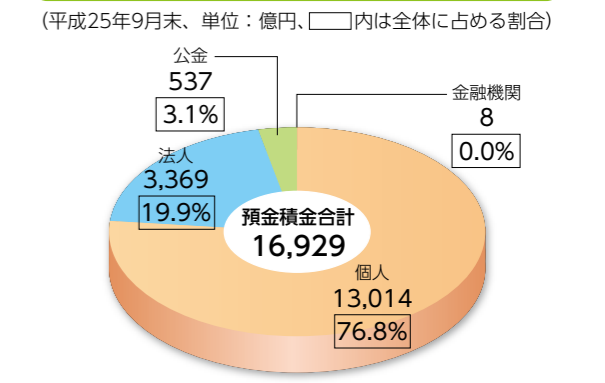
地域の皆さまからのご預金

平成25年度上半期は、個人の皆さまの定期預金を中心に増加し、平成25年9月末の預金積金残高は1兆6,929億円(平成25年3月末比567億円増加)となりました。

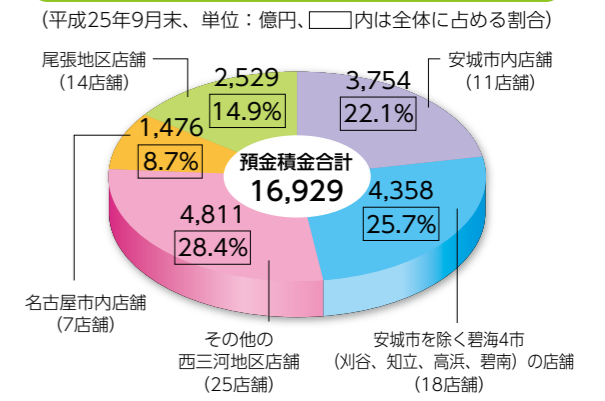
預金積金残高の推移



預金者別預金積金残高



営業店舗地区別預金積金残高



へきしんのCSR

環境・地域貢献への取り組み

地域環境を積極的に保護

へきしんは、限りある資源を守り続けるため、地域の皆さまとともに環境保全に取り組んでいます。



ペットボトルのキャップを集めることで世界の子どもたちにワクチンを贈る「エコキャップ運動」に積極的に取り組み、NPO法人エコキャップ推進協会よりエコキャップ支援賞を受賞しました。



環境に配慮したエコな乗り物である電動アシスト自転車を導入しました。女性職員のライフアドバイザーが渉外活動の移動手段として活用しています。



地球温暖化を防止する森林づくりや緑の保全に活用していただくため、役職員から集まった募金を「緑の募金」へ贈呈させていただきました。

地域行事へ積極的に参加

へきしんは、地域の行事・イベントに積極的に参加することで、地域の一員として、地域の皆さまとのつながり、交流を大切にしています。



有松絞りまつりにボランティア参加しました。祭り当日は、絞りの浴衣姿で抹茶を振舞いました。(有松支店)



安城七夕まつりのダンスコンテストに参加し、パレード部門一般の部で5年連続の優勝を果たしました。(安城市内店舗)



地元の夏祭り・盆踊り大会に毎年参加し、ポップコーンやかき氷の販売のお手伝いをしています。(豊明支店)



地元小中学校での金融教室の開催や各店舗において職場体験の生徒の受け入れを積極的に行っています。(各店舗)



安城市の東を流れる矢作川をイカダで下る「第13回矢作川くだり」に自作したイカダ2床で参加しました。(桜井支店)



安城市子ども会ソフトボール・フットベースボール中央大会にボランティアとして参加しました。(安城市内店舗)

さまざまなロビー展を開催

へきしんは、地域の皆さまの文化活動を多くのお客さまに紹介させていただくため、営業店やサルビア支店2階ギャラリーで、さまざまなロビー展を開催しています。



地元小学生による水彩・水墨画展 (豊田西支店 25年7月～9月開催)



就業支援施設の皆さまによるエコクラフト展 (豊田朝日支店 25年7月～9月開催)



安城市名誉市民 杉浦正行氏による写真展 (サルビア支店2階ギャラリー25年9月開催)



日展入選書道家の待田康苑氏による書作展 (サルビア支店2階ギャラリー25年10月開催)

お客さま満足度向上への取り組み

お客さま目線に立ったサービス・商品のご提供

へきしんは、お客さまのニーズにお応えし、お客さまに満足していただくため、お客さま目線に立った、さまざまなサービス・商品をご用意しております。



「ATM休日・時間外手数料無料サービス」を開始

平成25年10月1日より、当金庫のキャッシュカード・ローンカードをご利用のお客さまは、当金庫ATM入出金手数料が平日・土曜日・日曜日・祝日いつでも「0円」となりました。また、全ての店舗内ATMコーナー、および32カ所の店舗外ATMコーナーの営業時間を延長しました。

お取扱日	8:00	8:45 9:00	14:00	18:00 19:00	21:00
平日	105円→無料	無料	無料	105円→無料	
土曜日(祝日除く)			無料	105円→無料	
日曜日・祝日			105円→無料		

※ATMコーナーにより営業日および営業時間が異なります。 ※当金庫以外のATMは対象外となります。 ※店舗外共同ATMは一部対象外となります。 ※お振込の際には別途所定の振込手数料が必要となります。



毎月15日は「資産の相談日」

大切なお金を「上手に運用したい。」など、お客さまのニーズにお応えできるよう、最適な資産運用のご提案をさせていただく「資産の相談日」を毎月15日(休業日の場合は前営業日)に全ての営業店で開催しています。



インターネットサービスを拡充

ご自宅のパソコンから投資信託のお取引やご照会ができる投信インターネットサービス、および個人の方の定期預金のお預け入れやご照会ができるサービスを開始しました。



※ご利用に際しては、あらかじめ所定のお手続きが必要となります。

お客さまにあった各種商品をご用意

キャンペーン商品をはじめ、地域の皆さまの生活設計や資産の形成、資金需要などのお役に立てるよう、さまざまな商品を取り揃えています。



●ドリームぶらす定期積金 (期間:平成25年12月30日まで)



●笑顔の定期 2013秋冬 (期間:平成25年12月30日まで)



●年金キャンペーン 2013 (期間:平成26年3月31日まで)



●退職金定期預金 (期間:平成26年3月31日まで)



●フリーローン ラピッド

へきしんのCSR

地域経済活性化への取り組み

お客さまに対するコンサルティング機能の発揮

へきしんは、地域経済の発展のため、当金庫が持つコンサルティング機能を発揮し、皆さまを力強くサポートします。

海外子会社向け直接融資に関する認可を取得



平成25年6月26日に東海財務局より、お取引先の海外子会社向け直接融資の取り扱いを行えるよう認可を取得しました。中小企業の皆さまの海外展開が活発化する中、お取引先の資金需要をはじめとした多様なニーズに対応できる体制を強化してまいります。

ローンプラザ豊明をオープン

平成25年7月1日に、当金庫で2番目となるローンプラザを豊明支店2階にオープンしました。住宅ローンをはじめ、ローンに関するさまざまな相談や年金相談にお応えします。



営業日：月・火・木・金・土・日 9:00～17:00
(年金相談会は毎週土曜日)
※水曜日・祝日(土日を除く)・振替休日・年末年始等は
お休みとさせていただきます。

NISAの仕組みなどを解説する資産運用セミナーを開催

平成26年1月から開始される新しい証券税制NISA(少額投資非課税制度)の仕組みや最近の金融経済の動向についてわかりやすく解説する「資産運用セミナー」を開催しました。地域の皆さまの今後の資産運用の参考としていただければと考えています。



警備保障会社と海外セキュリティ分野で提携

平成25年5月20日にお取引先の海外拠点の安全管理を支援するため、大手警備保障会社であるセコム株式会社および総合警備保障株式会社と海外セキュリティ分野における業務提携を行いました。

近年、企業の海外進出が加速する中、海外で駐在員が事件・事故に巻き込まれたり、工場の施設内において製品、設備等の盗難が発生するなどのリスクが顕著化しています。今回の提携により、当金庫はお取引先に対して、両社サービスの紹介や、両社が保有する海外ネットワークを活かした海外ビジネス支援を行うことができるようになりました。

しんきん愛知プラットフォームに参加

地域の中小企業の皆さまが抱える経営課題の解決をお手伝いするため、専門家を派遣する連携体「しんきん愛知プラットフォーム」に参加しました。中小企業・小規模事業者が抱える経営課題解決のため、専門家派遣の窓口機能を担うほか、さまざまな支援を構成機関と連携して行います。

また、本支援事業においては、国や公的機関の支援情報・支援施策をわかりやすく提供するとともに、経営の悩みに対する先輩経営者や専門家との情報交換の場を提供する支援ポータルサイト「ミラサポ(<https://www.mirasapo.jp/>)」も開設されています。

へきしん事業承継セミナーを開催



平成25年度税制改正により、地域の皆さまから相続や事業承継への相談が増加しているのに合わせて「へきしん事業承継セミナー」を開催しました。税制改正の説明から始まり、事例を挙げながら、経営権の確保や自社の取り扱いなど事業承継のポイントについて解説しました。

地域密着型金融推進計画の取組状況

当金庫では、平成25年4月より「地域密着型金融推進計画(平成25年4月～平成27年3月)」を策定し、金庫全体で積極的に取り組んでいます。

1 顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮

項目	具体的取組策	主な取組実績(平成25年9月末)
創業・新規事業 開拓支援	○創業・新規事業に対する支援内容の充実及び人材の育成	・認定経営革新等支援機関を活用した中小企業支援策「創業補助金」の申請支援件数10件 ・安城・豊田商工会議所、高浜商工会と連携した創業支援融資実績4件 ・日本政策金融公庫との連携による創業支援(協調融資) 融資実績1件
成長段階における 更なる飛躍支援	○金融支援に留まらない経営支援態勢の構築 ○成長分野への育成支援 ○海外事業展開のサポート態勢強化	・「愛知ビジネスパークいざ検索!」に会員企業129先の情報を公開中 企業交流会へ当金庫取引先の参加数15先 ・医療・介護分野に対する相談対応先57先 ・認定経営革新等支援機関を活用した中小企業支援策「ものづくり補助金」の申請支援件数96件、小規模事業者活性化補助金の申請支援件数11件 ・中小企業・小規模事業者ビジネス創造等支援事業の専門家派遣1件 ・地域成長事業支援ファンドの募集枠を200億円から270億円へ増枠 取扱累計241件、189億円(25年度上期実績45件、30億円) ・インドネシア国際銀行(BII)と業務提携契約を締結(4月) ・東海財務局より海外子会社向け直接融資に関する認可を取得(6月) ・第6回へきしんグローバルセミナーを開催(7月) ・取引先の海外事業支援に関する訪問回数29社39回
経営改善支援	○企業のライフステージに応じたソリューションの強化 ○資金繰り円滑化支援	・経営改善支援先として540先(平成25年度)を重点支援 ・条件変更受付件数(平成25年度平均) 事業性391件/月、住宅ローン3件/月 ・資金繰り支援を目的とした「長期経営支援融資」制度を平成25年1月に創設 取扱累計8件、678百万円(平成25年度上期実績4件、515百万円)
事業再生や 業種転換等の支援	○多様で専門性の高い経営改善支援の実践	・日本政策金融公庫と協調したABLの実行1件 ・中小企業再生支援協議会への相談件数11件
事業の持続可能性が 見込まれない先への支援	○債務整理等を前提とした再起に向けた 方策の検討	・事業継続可能性が困難な企業に対してコンサルティング会社と連携し廃業へ 向けた取り組みをサポート
事業承継支援	○M&Aを含めた事業承継相談の 積極的対応	・事業承継に関する相談対応先数78先、うち株価算定による面談を32先実施 ・外部機関と連携した提案を7先実施 ・お客様向けセミナー「へきしん事業承継セミナー」を開催(6月)

2 地域の面的再生への積極的な参画

項目	具体的取組策	主な取組実績(平成25年9月末)
CSRへの取り組み	○地域事業への参画	・「子育て家庭優待事業」で、めりっとくんノートプレゼント 1,094件
地域の取り組みへの 積極的な参画	○環境に配慮した融資の推進 ○商店街の活性化	・「太陽光発電事業支援ローン」を平成25年1月より取扱開始 取扱累計25件、215百万円(平成25年度上期実績20件、157百万円) ・「エコ住宅支援ローン(リフォーム編)」を平成23年2月より取扱開始 取扱累計116件、259百万円(平成25年度上期実績14件、35百万円) ・「リフォームプラン・エコ」を平成25年3月より取扱開始 (平成25年度上期実績6件、21百万円) ・地域スタンプ事業に協賛 [安城市、刈谷市、高浜市] 平成25年度上期実績、満帖台紙取次枚数 5,124枚 ・地元商店街での「アトム通貨」取扱を支援 [安城市] 平成25年度上期実績、取次枚数 292枚

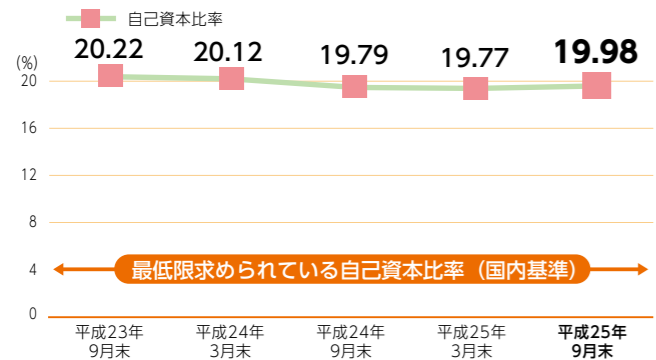
3 地域や利用者に対する積極的な情報発信

項目	具体的取組策	主な取組実績(平成25年9月末)
地域密着型金融の 取り組みに関する 積極的な情報発信	○ホームページ、 ディスクロージャー誌、 Hekikai Report等の活用	・地域密着型金融推進計画の取組状況や、各種取組に関するニュースリリース等を ホームページ上で公表 ・ディスクロージャー誌において、地域金融円滑化への取り組み等を積極的に紹介 ・情報誌「Hekikai Report」の紙面上で、企業訪問レポート(2回)、および インドネシア国際銀行(BII)との業務提携に関するレポートを紹介
地域やお客さまへの 多様な情報提供	○地域経済や経営に役立つ 多様な情報提供の実施	・景気動向調査を2回実施し、情報誌「Hekikai Report」の紙面上で結果を公表 ・碧青会経営セミナーの活性化に向け、著名講師の招聘等を支援 10地区の碧青会において、会員向けセミナー開催14回

業績ハイライト

自己資本比率

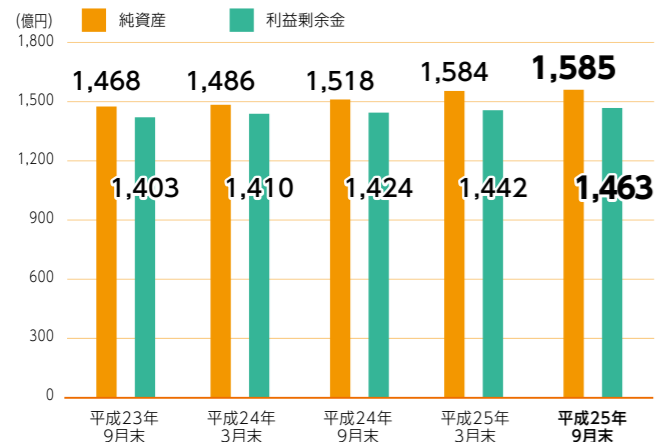
金融機関の安全性を表す代表的な指標である自己資本比率は、平成25年3月末比0.21ポイント上昇し19.98%となりました。



[参考] 自己資本比率 (%) = (自己資本額 ÷ リスクアセット額) × 100
 ※平成24年3月末は、自己資本比率の計算過程に誤りがあり、自己資本比率を20.13%から20.12%に訂正しています。

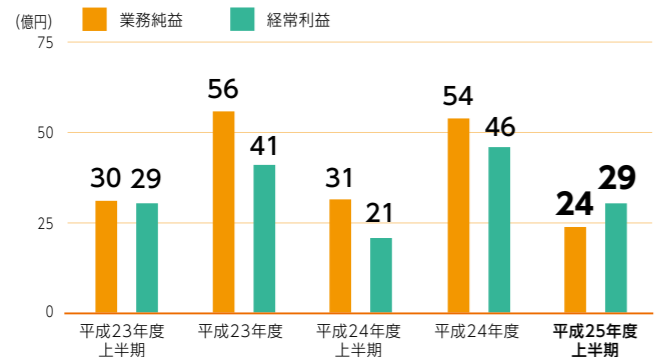
純資産

純資産は、平成25年3月末比96百万円増加の1,585億円となり、引き続き高い水準を維持しています。また、創業以来の利益の積立金である利益剰余金は、平成25年3月末比20億円増加の1,463億円と着実に増加しています。



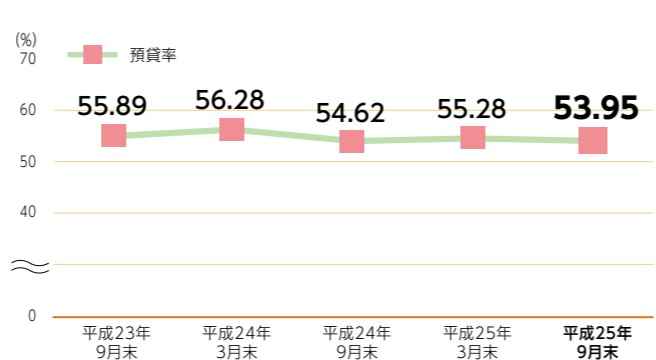
業務純益・経常利益

業務純益は前年同期比6億円減少の24億円となりました。また、経常利益については、前年同期比8億円増加の29億円となりました。



預貸率

預貸率は、貸出金残高に比べ預金積金残高の伸びが大きかったことから、平成25年3月末比1.33ポイント低下し53.95%となりました。



[参考] 預貸率 (%) = (貸出金残高 ÷ 預金積金残高) × 100

損益の状況

平成25年度上半期は、貸出金利回りの低下により貸出金利息が減少したほか、役務取引等利益が減少しましたが、経費の削減や有価証券関係損益(国債等債券関係損益、株式等関係損益)の改善、不良債権処理費用の減少などにより、経常利益29億円、当期純利益21億円となりました。

	平成24年度上半期	平成25年度上半期	増減
業務粗利益	11,469	10,783	△686
資金利益	10,153	10,066	△87
役務取引等利益	558	538	△19
その他業務利益	757	178	△578
(うち国債等債券関係損益)	743	151	△591
経費	8,477	8,324	△153
人件費	4,848	4,773	△75
物件費	3,387	3,338	△48
一般貸倒引当金繰入額	△145	—	145
業務純益 (※1)	3,137	2,459	△678
コア業務純益 (※2)	2,249	2,308	58
臨時損益	△1,005	499	1,505
不良債権処理損益	△315	△46	269
株式等関係損益	△774	479	1,253
経常利益	2,131	2,958	826
特別損益	△14	△7	7
当期純利益	1,471	2,128	656

※1 業務純益とは、金庫の基本的業務に係る利益です。
 ※2 コア業務純益とは、業務純益から、一時的な変動要因(国債等債券関係損益等)を除いた、より実質的な収益力を表す利益です。

不良債権の状況

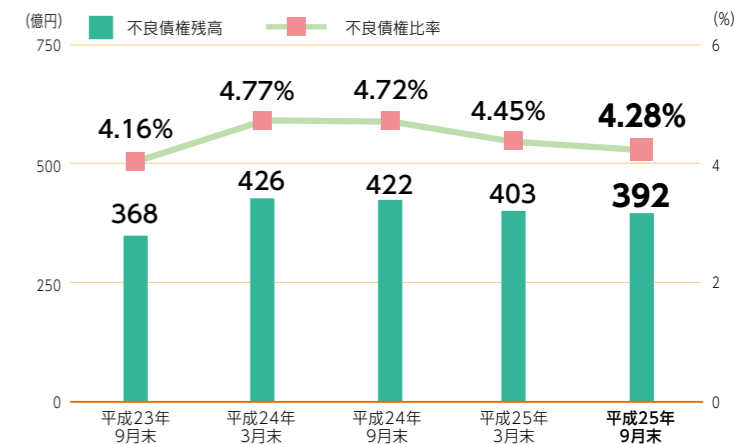
不良債権に対する考え方

不良債権については、地域経済への影響を十分に考慮し、計画的な削減に努める方針です。

不良債権の中には、経営が厳しい中で、懸命に努力しているお取引先に対する債権も含まれています。こうしたお取引先に対して、「事業再生・経営支援活動」を主体に支援を行うことも、地域金融機関としての大きな使命であると考えています。

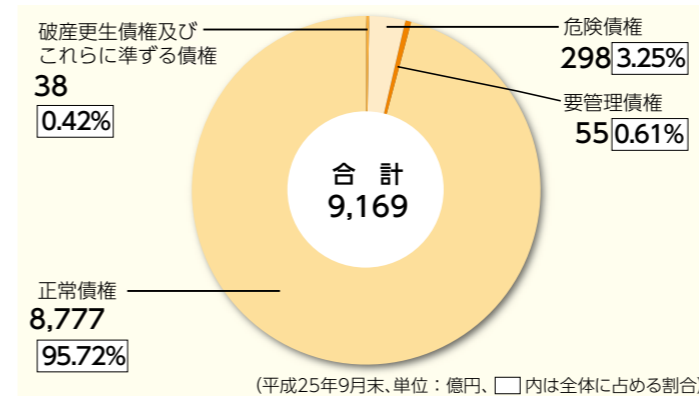
平成25年9月末の金融再生法ベースの不良債権残高は、平成25年3月末比11億円減少の392億円、不良債権比率は0.17ポイント低下し4.28%となりました。

※当金庫は債務者に対する債権のうち、回収可能性がないと判断した部分について、直接貸借対照表から減額する部分直接償却を実施しています。



金融再生法開示債権の状況

金融再生法開示債権の対象資産は、貸出金、債務保証見返、外国為替、仮払金、未収利息、貸付有価証券、当金庫の保証を付した私募債引受額です。



【用語のご説明】

■破産更生債権及びこれらに準ずる債権
破産、会社更生、再生手続等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権およびこれらに準ずる債権をいいます。

■要管理債権
「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」「危険債権」を除外し、3か月以上延滞債権および貸出条件緩和債権をいいます。

■危険債権
債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態および経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収および利息の受取りができない可能性の高い債権をいいます。

■正常債権
債務者の財政状態および経営成績に特になし、問題がない、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」「危険債権」「要管理債権」以外に区分される債権をいいます。

金融再生法に基づく開示債権の保全状況

「不良債権」は、すべてが損失につながるわけではありません。「担保・保証等による回収見込額」や「貸倒引当金」により大部分がカバーされています。



	開示残高 (a)	保全額 (b)		保全率 (b)/(a)	引当率 (d)/(a-c)
		担保・保証等による回収見込額 (c)	貸倒引当金 (d)		
金融再生法ベースの不良債権	39,223	32,497	2,186	82.9%	24.5%
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	3,806	3,806	32	100.0%	100.0%
危険債権	29,837	23,519	1,872	85.1%	29.6%
要管理債権	5,578	3,299	282	59.2%	11.0%
正常債権	877,725	※要管理債権の担保・保証等については、要管理先債権額の担保・保証等による回収見込額を与信残高により按分し算出しています。 ※貸倒引当金は、正常債権に対する一般貸倒引当金を除いて計上しています。 ※貸出金などの回収可能性に応じて引当率が定められているため、保全率、引当率は100%にはなりません。			
合計	916,948				

財務諸表

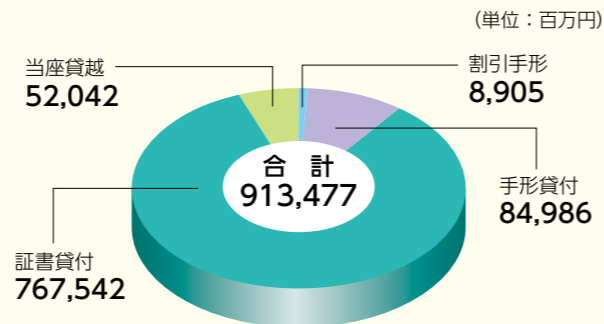
貸借対照表

	平成24年9月末	平成25年3月末	平成25年9月末
(資産の部)			
現金	15,676	18,537	18,276
預け金	376,618	323,944	344,073
買入金銭債権	8,706	9,706	4,407
金銭の信託	500	500	—
商品有価証券	5	5	3
有価証券	484,892	533,546	572,879
貸出金	891,915	904,632	913,477
外国為替	417	338	489
その他資産	8,821	9,321	8,677
有形固定資産	17,388	17,167	17,243
無形固定資産	476	474	419
債務保証見返	2,399	2,529	2,478
貸倒引当金	△4,102	△4,950	△4,671
資産の部合計	1,803,716	1,815,753	1,877,752

	平成24年9月末	平成25年3月末	平成25年9月末
(負債の部)			
預金積金	1,632,820	1,636,212	1,692,950
借入金	8,060	8,325	15,420
外国為替	150	128	191
その他負債	5,708	5,744	4,185
賞与引当金	541	176	524
退職給付引当金	607	651	633
役員退職慰労引当金	309	342	323
偶発損失引当金	423	420	417
睡眠預金払戻損失引当金	124	90	90
繰延税金負債	690	2,645	1,953
債務保証	2,399	2,529	2,478
負債の部合計	1,651,836	1,657,266	1,719,169
(純資産の部)			
出資金	1,229	1,232	1,235
利益剰余金	142,459	144,277	146,332
会員勘定合計	143,689	145,509	147,567
その他有価証券評価差額金	8,189	12,977	11,015
評価・換算差額等合計	8,189	12,977	11,015
純資産の部合計	151,879	158,486	158,583
負債及び純資産の部合計	1,803,716	1,815,753	1,877,752

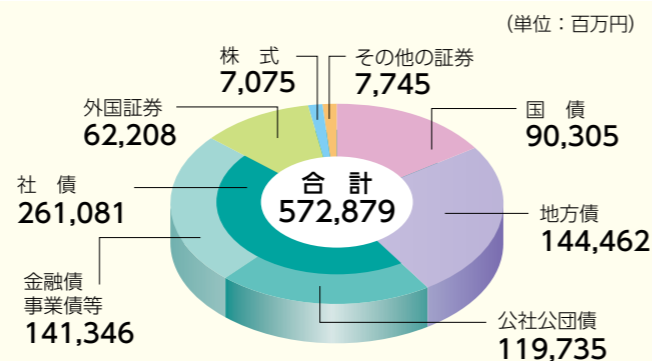
貸出金の内訳 (平成25年9月末)

貸出金については、事業者向け貸出、個人向け貸出に積極的に取り組んだ結果、平成25年3月末比8,845百万円増加の913,477百万円となりました。科目別では、割引手形・手形貸付が減少し、証書貸付・当座貸越が増加しました。今後とも、地域の皆さまのさまざまな資金需要に積極的に対応していく方針です。



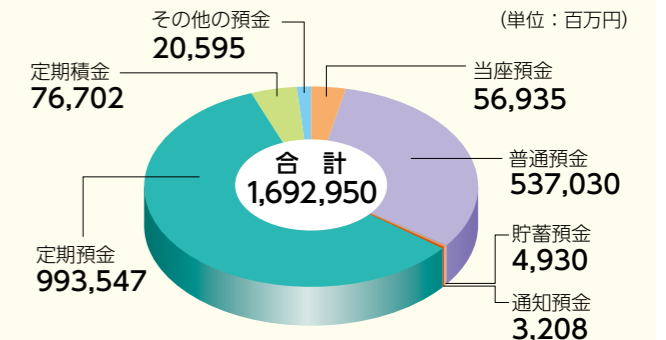
有価証券の内訳 (平成25年9月末)

有価証券の運用については、安全性を重視し、国債・地方債、格付けの高い社債および外国証券などの債券を中心に分散投資を行っています。また、一般的に価格変動リスクの大きい株式投資は、有価証券全体の1.2%程度です。今後とも、安全性を重視した健全な資産運用を行う方針です。



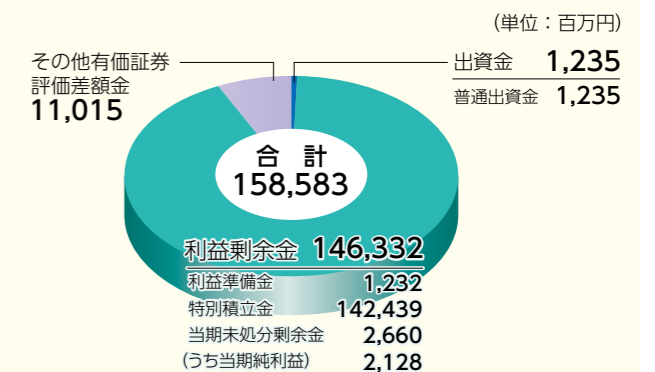
預金積金の内訳 (平成25年9月末)

預金については、平成25年3月末比56,738百万円増加し、1,692,950百万円となりました。地域のお客さまの主要な資産運用手段である定期預金については、993,547百万円と預金全体の58.6%を占めています。今後とも、地域のお客さまが安心してご預金いただけるように、業務運営を行う方針です。



純資産の内訳 (平成25年9月末)

純資産については、平成25年3月末比96百万円増加し、158,583百万円となりました。このうち、過去の利益の蓄積である利益剰余金は146,332百万円(純資産に占める割合は92.2%)となっており、健全な構成となっています。創業以来一貫して蓄積した「質・量ともに十分な純資産」は当金庫最大の財産であり、急激な金融経済環境の変化への対応を可能にする十分な力を備えています。



財務諸表

損益計算書

(単位：百万円)

	平成24年4月1日から 平成24年9月30日	平成24年4月1日から 平成25年3月31日	平成25年4月1日から 平成25年9月30日
経常収益	13,469	25,941	12,992
資金運用収益	10,910	21,370	10,764
役員取引等収益	1,263	2,502	1,272
その他業務収益	1,111	1,503	179
その他経常収益	184	566	775
経常費用	11,337	21,263	10,034
資金調達費用	756	1,463	698
役員取引等費用	704	1,421	734
その他業務費用	353	81	0
経費	8,528	16,285	8,315
その他経常費用	994	2,010	284
経常利益	2,131	4,678	2,958
特別利益	—	—	0
特別損失	14	57	7
税引前当期純利益	2,117	4,621	2,951
法人税、住民税及び事業税	750	1,276	772
法人税等調整額	△104	54	50
法人税等合計	645	1,331	823
当期純利益	1,471	3,289	2,128
繰越金(当期首残高)	315	315	532
当期末処分剰余金	1,786	3,604	2,660

自己資本比率

単体自己資本比率

(単位：百万円)

	平成24年9月末	平成25年3月末	平成25年9月末
基本的項目(A)	143,689	145,436	147,567
出資金	1,229	1,232	1,235
利益準備金	1,229	1,232	1,232
特別積立金	139,443	142,439	142,439
繰越金(当期末残高)	1,786	532	2,660
その他有価証券の評価差損(△)	—	—	—
補完的項目(B)	2,017	2,903	2,764
一般貸倒引当金	2,017	2,903	2,764
補完的項目不算入額(△)	—	—	—
自己資本総額(C) = (A) + (B)	145,707	148,339	150,332
控除項目計(D)	—	—	—
自己資本額(E) = (C) - (D)	145,707	148,339	150,332
リスク・アセット等計(F)	736,251	750,166	752,326
資産(オン・バランス)項目	690,006	704,645	706,863
オフ・バランス取引等項目	1,848	2,469	2,411
オペレーショナル・リスク相当額/8%	44,396	43,051	43,051
単体自己資本比率(E)/(F)×100	19.79%	19.77%	19.98%

(注) 自己資本比率は、「信用金庫法第89条第1項において準用する銀行法第14条の2の規定に基づき、信用金庫及び信用金庫連合会がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準」(平成18年金融庁告示第21号)に基づき算出しています。
なお、当金庫は国内基準を採用しています。

時価情報

有価証券の時価情報

1. 売買目的有価証券

(単位：百万円)

	平成25年3月末			平成25年9月末		
	貸借対照表 計上額	取得原価	当事業年度の 損益に含まれた評価差額	貸借対照表 計上額	取得原価	当事業年度の 損益に含まれた評価差額
国債	—	—	—	—	—	—
地方債	5	5	△0	3	3	△0
合計	5	5	△0	3	3	△0

(注) 貸借対照表計上額は、期末日における市場価格等に基づいています。

2. 満期保有目的の債券

(単位：百万円)

	種 類	平成25年3月末			平成25年9月末		
		貸借対照表 計上額	時 価	差 額	貸借対照表 計上額	時 価	差 額
時価が 貸借対照表計上額を 超えるもの	地方債	99	100	0	—	—	—
	社債	200	210	10	250	259	9
	その他	3,000	3,084	84	3,000	3,076	76
	小計	3,299	3,394	94	3,250	3,335	85
時価が 貸借対照表計上額を 超えないもの	地方債	—	—	—	—	—	—
	社債	—	—	—	—	—	—
	その他	1,001	970	△31	701	690	△10
	小計	1,001	970	△31	701	690	△10
合計		4,301	4,364	62	3,951	4,026	74

(注) 1. 時価は、期末日における市場価格等に基づいています。
2. 「その他」は外国証券です。
3. 時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券は本表には含めていません。

3. その他有価証券

(単位：百万円)

	種 類	平成25年3月末			平成25年9月末		
		貸借対照表 計上額	取得原価	差 額	貸借対照表 計上額	取得原価	差 額
貸借対照表計上額が 取得原価を 超えるもの	株式	4,847	2,193	2,653	5,624	2,613	3,011
	債券	445,083	430,915	14,167	453,148	441,915	11,233
	国債	85,628	81,993	3,634	84,845	81,876	2,968
	地方債	119,303	115,232	4,071	132,559	129,371	3,188
	社債	240,150	233,688	6,461	235,743	230,667	5,076
	その他	38,468	36,767	1,701	39,418	37,820	1,597
小計	488,398	469,876	18,522	498,191	482,349	15,842	
貸借対照表計上額が 取得原価を 超えないもの	株式	309	341	△32	780	855	△75
	債券	11,474	11,656	△181	42,451	42,779	△328
	国債	—	—	—	5,460	5,486	△26
	地方債	—	—	—	11,902	12,009	△106
	社債	11,474	11,656	△181	25,087	25,282	△195
	その他	28,399	28,834	△434	26,834	27,103	△268
小計	40,184	40,832	△648	70,066	70,738	△672	
合計		528,582	510,708	17,874	568,258	553,087	15,170

(注) 1. 貸借対照表計上額は、期末日における市場価格等に基づいています。
2. 「その他」は投資信託・外国証券等です。
3. 時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券は本表には含めていません。

4. 時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券

(単位：百万円)

	平成25年3月末	平成25年9月末
	貸借対照表計上額	貸借対照表計上額
子会社・子法人等株式及び関連法人等株式	49	49
その他有価証券	613	619
合計	662	669

※有価証券の減損処理は、「著しい下落」に係る合理的な基準等に基づき実施しています。

バーゼルⅡへの取り組み [定量的な開示事項(単体)]

(1) 自己資本の構成に関する事項

(単位：百万円)

項 目	平成25年3月末	平成25年9月末
(自己資本)		
出資金	1,232	1,235
うち非累積的永久優先出資	-	-
優先出資申込証拠金	-	-
資本準備金	-	-
その他資本剰余金	-	-
利益準備金	1,232	1,232
特別積立金	142,439	142,439
繰越金(当期末残高)	532	2,660
その他	-	-
処分未済持分(△)	-	-
自己優先出資(△)	-	-
自己優先出資申込証拠金	-	-
その他有価証券の評価差損(△)	-	-
営業権相当額(△)	-	-
のれん相当額(△)	-	-
企業結合により計上される無形固定資産相当額(△)	-	-
証券化取引により増加した自己資本に相当する額(△)	-	-
内部格付手法採用金庫において、期待損失額が適格引当金を上回る額の50%相当額(△)	-	-
基本的項目 (A)	145,436	147,567
土地の再評価額と再評価の直前の帳簿価額の差額の45%に相当する額	-	-
一般貸倒引当金	2,903	2,764
内部格付手法採用金庫において、適格引当金が期待損失額を上回る額	-	-
負債性資本調達手段等	-	-
負債性資本調達手段	-	-
期限付劣後債務及び期限付優先出資	-	-
補充的項目不算入額(△)	-	-
補充的項目 (B)	2,903	2,764
自己資本総額 [(A)+(B)] (C)	148,339	150,332
他の金融機関の資本調達手段の意図的な保有相当額	18,202	18,202
負債性資本調達手段及びこれに準ずるもの	-	-
期限付劣後債務及び期限付優先出資並びにこれらに準ずるもの	13,750	13,750
非同時決済取引に係る控除額及び信用リスク削減手法として用いる保証又はクレジット・デリバティブの免責額に係る控除額	-	-
内部格付手法採用金庫において、期待損失額が適格引当金を上回る額の50%相当額	-	-
PD/LGD方式の適用対象となる株式等エクスポージャーの期待損失額	-	-
基本的項目からの控除分を除く、自己資本控除とされる証券化エクスポージャー及び信用補充機能を持つ/オストリップス(告示第247条を準用する場合を含む。)	-	-
控除項目不算入額(△)	18,202	18,202
控除項目計 (D)	-	-
自己資本額 [(C)-(D)] (E)	148,339	150,332
(リスク・アセット等)		
資産(オン・バランス)項目	704,645	706,863
オフ・バランス取引等項目	2,469	2,411
オペレーショナル・リスク相当額を8%で除して得た額	43,051	43,051
信用リスク・アセット調整額	-	-
オペレーショナル・リスク相当額調整額	-	-
リスク・アセット等計 (F)	750,166	752,326
単体Tier1比率 (A/F)	19.38%	19.61%
単体自己資本比率 (E/F)	19.77%	19.98%

(注) 自己資本比率は、「信用金庫法第89条第1項において準用する銀行法第14条の2の規定に基づき、信用金庫及び信用金庫連合会がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準」(平成18年金融庁告示第21号)に基づき算出しています。
なお、当金庫は国内基準を採用しています。

(2) 自己資本の充実度に関する事項

(単位：百万円)

	平成25年3月末		平成25年9月末	
	リスク・アセット	所要自己資本額	リスク・アセット	所要自己資本額
イ. 信用リスク・アセット・所要自己資本の額合計	707,114	28,284	709,274	28,370
①標準的手法が適用されるポートフォリオごとのエクスポージャー	706,864	28,274	709,274	28,370
(i) ソブリン向け	6,543	261	6,665	266
(ii) 金融機関向け	109,956	4,398	104,791	4,191
(iii) 法人等向け	241,034	9,641	239,113	9,564
(iv) 中小企業等・個人向け	133,314	5,332	134,849	5,393
(v) 抵当権付住宅ローン	75,321	3,012	77,447	3,097
(vi) 不動産取得等事業向け	95,491	3,819	100,784	4,031
(vii) 三月以上延滞等	749	29	2,312	92
(viii) その他	44,453	1,778	43,311	1,732
②証券化エクスポージャー	250	10	-	-
ロ. オペレーショナル・リスク	43,051	1,722	43,051	1,722
ハ. 単体総所要自己資本額 (イ+ロ)	750,166	30,006	752,326	30,093

- (注) 1. 所要自己資本の額=リスク・アセット×4%
 2. 「エクスポージャー」とは、資産(派生商品取引によるものを除く)並びにオフ・バランス取引及び派生商品取引の与信相当額のことです。
 3. 「ソブリン」とは、中央政府、中央銀行、地方公共団体、地方公共団体金融機構、我が国の政府関係機関、土地開発公社、地方住宅供給公社、地方道路公社、外国の中央政府等以外の公共部門(当該国内においてソブリン扱いになっているもの)、国際開発銀行、国際決済銀行、国際通貨基金、欧州中央銀行、欧州共同体、信用保証協会、農業信用基金協会及び漁業信用基金協会のことです。
 4. 「三月以上延滞等」とは、元本又は利息の支払が約定支払日の翌日から3か月以上延滞している債務者に係るエクスポージャー及び「ソブリン向け」、「金融機関向け」、「法人等向け」においてリスク・ウェイトが150%になったエクスポージャーのことです。
 5. オペレーショナル・リスクは、当金庫は基礎的手法を採用しています。

【オペレーショナル・リスク(基礎的手法)の算定方法】

$$\frac{\text{粗利益(直近3年間のうち正の値の合計額)} \times 15\%}{\text{直近3年間のうち粗利益が正の値であった年数}} \div 8\%$$

6. 単体総所要自己資本額=単体自己資本比率の分母の額×4%

(3) 信用リスクに関する事項(証券化エクスポージャーを除く)

イ. 信用リスクに関するエクスポージャー及び主な種類別の期末残高(業種別、残存期間及び地域別) (単位：百万円)

業種区分 期間区分	エクスポージャー区分		信用リスクエクスポージャー期末残高		有価証券				デリバティブ取引		三月以上延滞 エクスポージャー		
	製造業	その他	貸出金、コミットメント及び その他のデリバティブ以外の オフ・バランス取引	国内	国外	国内	国外	国内	国外	国内	国外	国内	国外
製造業	202,890	207,424	144,419	143,725	50,266	57,147	8,198	6,544	-	-	26	24	
農業、林業	1,179	1,106	1,179	1,106	-	-	-	-	-	-	-	-	
漁業	164	122	164	122	-	-	-	-	-	-	-	-	
鉱業、採石業、砂利採取業	517	295	517	295	-	-	-	-	-	-	-	-	
建設業	63,584	63,507	62,135	61,967	1,448	1,540	-	-	-	-	29	64	
電気・ガス・熱供給・水道業	22,841	20,225	536	606	21,542	18,841	761	778	-	-	-	-	
情報通信業	2,946	2,582	737	815	1,209	1,267	999	500	-	-	-	-	
運輸業、郵便業	31,176	32,272	21,049	19,888	9,324	11,583	802	800	-	-	-	-	
卸売業、小売業	95,099	95,325	80,178	80,415	12,517	13,104	2,403	1,801	0	3	59	72	
金融業、保険業	427,734	424,878	23,850	25,919	38,739	35,649	49,889	49,946	0	1	-	-	
不動産業	181,728	179,367	178,782	176,414	2,946	2,953	-	-	-	-	282	208	
物品賃貸業	14,433	9,003	3,219	3,291	1,508	1,308	1,002	1,002	-	-	-	-	
学術研究、専門・技術サービス業	6,190	6,597	6,190	6,597	-	-	-	-	-	-	1	-	
宿泊業	997	1,032	997	1,032	0	0	-	-	-	-	-	-	
飲食業	9,843	10,272	9,843	10,272	-	-	-	-	-	-	23	15	
生活関連サービス業、娯楽業	23,675	26,565	23,470	26,354	205	210	-	-	-	-	32	-	
教育、学習支援業	2,176	3,115	2,176	3,115	-	-	-	-	-	-	-	-	
医療、福祉	29,244	32,922	29,244	32,922	-	-	-	-	-	-	-	0	
その他のサービス	26,781	23,778	26,639	23,628	122	122	-	-	-	-	3	-	
国・地方公共団体等	375,529	442,473	51,653	57,929	307,025	345,988	-	-	-	-	-	-	
個人	254,442	259,507	254,442	259,507	-	-	-	-	-	-	154	187	
その他	42,915	44,095	729	480	5,019	6,981	-	-	35	39	-	-	
業種別合計	1,816,094	1,886,474	922,158	936,409	451,877	496,699	64,058	61,374	35	43	611	573	
1年以下	351,785	329,268	168,405	168,707	46,969	48,682	12,166	13,388	35	43			
1年超3年以下	303,828	271,122	58,529	52,095	64,088	60,795	20,754	16,854					
3年超5年以下	187,533	217,082	94,599	109,840	71,933	81,822	10,985	10,905					
5年超7年以下	226,418	229,473	104,614	96,894	100,191	110,100	9,599	7,458					
7年超10年以下	266,440	327,142	88,176	95,236	156,064	177,350	10,166	12,378					
10年超	393,135	398,172	388,465	391,045	4,282	6,739	386	387					
期間の定めのないもの	86,952	114,212	19,366	22,590	8,348	11,208							
残存期間別合計	1,816,094	1,886,474	922,158	936,409	451,877	496,699	64,058	61,374	35	43			

バーゼルⅡへの取り組み〔定量的な開示事項(単体)〕

- (注) 1. オフ・バランス取引は、デリバティブ取引を除きます。
 2. 「三月以上延滞エクスポージャー」とは、元本又は利息の支払が約定支払日の翌日から3か月以上延滞している債務者に係るエクスポージャーのことです。
 3. 上記の「その他」は、業種区分に分類することが困難なエクスポージャーです。具体的には現金、有形・無形固定資産、投資信託等が含まれます。
 4. 有価証券については、国内及び国外に区分しています。ただし、投資信託等は、国内、国外に区分することが困難なため、国内に含めています。なお、他の項目の地域別の区分は、すべて国内となります。
 5. 業種別区分は日本標準産業分類の大分類に準じて記載しています。

ロ. 一般貸倒引当金、個別貸倒引当金の期末残高及び期中の増減額 (単位：百万円)

	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
一般貸倒引当金	平成24年度	2,163	2,903	—	2,163
	平成25年度上半期	2,903	2,764	—	2,764
個別貸倒引当金	平成24年度	1,944	2,047	16	1,928
	平成25年度上半期	2,047	1,907	53	1,994
合計	平成24年度	4,107	4,950	16	4,091
	平成25年度上半期	4,950	4,671	53	4,897

ハ. 業種別の個別貸倒引当金及び貸出金償却の残高等 (単位：百万円)

	個別貸倒引当金										貸出金償却	
	期首残高		当期増加額		当期減少額				期末残高			
	平成24年度	平成25年度上半期	平成24年度	平成25年度上半期	目的使用		その他		平成24年度	平成25年度上半期		
製造業	766	900	900	835	4	9	762	891	900	835	41	21
農業、林業	1	0	0	0	—	—	1	0	0	0	—	—
漁業	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
鉱業、採石業、砂利採取業	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
建設業	87	67	67	57	4	2	83	65	67	57	20	4
電気・ガス・熱供給・水道業	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
情報通信業	2	2	2	—	—	—	2	2	2	—	—	—
運輸業、郵便業	5	4	4	4	—	—	5	4	4	4	—	—
卸売業、小売業	50	77	77	71	—	20	50	56	77	71	11	119
金融業、保険業	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
不動産業	122	110	110	104	—	—	122	110	110	104	38	—
物品賃貸業	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
学術研究、専門・技術サービス業	48	44	44	39	—	—	48	44	44	39	—	—
宿泊業	0	0	0	0	—	—	0	0	0	0	0	—
飲食業	10	14	14	12	1	1	8	13	14	12	7	6
生活関連サービス業、娯楽業	729	739	739	708	—	—	729	739	739	708	—	—
教育、学習支援業	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
医療、福祉	22	—	—	—	—	—	22	—	—	—	—	—
その他のサービス	34	24	24	28	6	1	27	23	24	28	1	—
国・地方公共団体等	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
個人	61	60	60	43	—	19	61	41	60	43	0	39
その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	1,944	2,047	2,047	1,907	16	53	1,928	1,994	2,047	1,907	122	191

- (注) 1. 地域に区分した場合、すべて国内となり、国外のものはありません。
 2. 業種別区分は日本標準産業分類の大分類に準じて記載しています。

ニ. リスク・ウェイトの区分ごとのエクスポージャーの額等 (単位：百万円)

告示で定める リスク・ウェイト区分 (%)	エクスポージャーの額			
	平成25年3月末		平成25年9月末	
	格付適用有り	格付適用無し	格付適用有り	格付適用無し
0%	—	455,819	1,894	514,760
10%	—	65,365	—	66,493
20%	56,061	371,352	60,235	375,383
35%	—	216,737	—	222,869
50%	68,794	79	61,562	72
75%	—	185,875	—	187,416
100%	7,161	388,406	6,626	387,699
150%	—	380	1,095	294
350%	—	—	—	—
自己資本控除	—	—	—	—
その他	—	61	—	70
合計	—	1,816,094	—	1,886,474

- (注) 1. 格付は適格格付機関が付与しているものに限ります。
 2. エクスポージャーは信用リスク削減手法適用後のリスク・ウェイトに区分しています。

(4) 信用リスク削減手法に関する事項

信用リスク削減手法が適用されたエクスポージャー (単位：百万円)

ポートフォリオ	信用リスク削減手法	適格金融資産担保		保証		クレジット・デリバティブ	
		平成25年3月末	平成25年9月末	平成25年3月末	平成25年9月末	平成25年3月末	平成25年9月末
信用リスク削減手法が適用されたエクスポージャー		11,955	11,589	130,377	135,061	—	—
①ソブリン向け		44	56	122,392	124,937	—	—
②金融機関向け		—	—	1,505	1,505	—	—
③法人等向け		3,333	3,128	—	1,894	—	—
④中小企業等・個人向け		6,803	6,470	6,344	6,615	—	—
⑤抵当権付住宅ローン		81	77	65	62	—	—
⑥不動産取得等事業向け		1,354	1,605	—	—	—	—
⑦三月以上延滞等		0	—	13	7	—	—
⑧その他		338	250	55	39	—	—

- (注) 当金庫は、適格金融資産担保について簡便手法を用いています。

(5) 派生商品取引及び長期決済期間取引の取引相手のリスクに関する事項

(単位：百万円)

	平成25年3月末	平成25年9月末
与信相当額の算出に用いる方式	カレントエクスポージャー方式	カレントエクスポージャー方式
グロス再構築コストの額の合計額	0	2
グロス再構築コストの額の合計額及びグロスのアドオン合計額から担保による信用リスク削減手法の効果を勘案する前の与信相当額を差し引いた額	—	—

	担保による信用リスク削減手法の効果を勘案する前の与信相当額		担保による信用リスク削減手法の効果を勘案した後の与信相当額	
	平成25年3月末	平成25年9月末	平成25年3月末	平成25年9月末
①派生商品取引合計	35	43	35	43
(i) 外国為替関連取引	12	20	12	20
(ii) 金利関連取引	—	—	—	—
(iii) 金関連取引	—	—	—	—
(iv) 株式関連取引	23	23	23	23
(v) 貴金属(金を除く)関連取引	—	—	—	—
(vi) その他コモディティ関連取引	—	—	—	—
(vii) クレジット・デリバティブ	—	—	—	—
②長期決済期間取引	—	—	—	—
合計	35	43	35	43

- (注) 1. グロス再構築コストの額は、0を下回らないものに限っています。
 2. 「グロス再構築コストの額の合計額」には、投資信託における派生商品取引のグロス再構築コストの額は含まれていません。
 3. 担保による信用リスク削減効果はありません。
 4. クレジット・デリバティブ取引はありません。

(6) 証券化エクスポージャーに関する事項

イ. オリジネーターの場合(信用リスク・アセットの算出対象となる証券化エクスポージャーに関する事項)

- ①原資産の合計額等
該当ありません。
- ②三月以上延滞エクスポージャーの額等(原資産を構成するエクスポージャーに限る)
該当ありません。
- ③証券化取引を目的として保有している資産の額及びこれらの主な資産の種類別の内訳
該当ありません。
- ④当期に証券化取引を行ったエクスポージャーの概略
該当ありません。
- ⑤証券化取引に伴い当期中に認識した売却損益の額及び主な原資産の種類別の内訳
該当ありません。

バーゼルⅡへの取り組み〔定量的な開示事項(単体)〕

⑥保有する証券化エクスポージャーの額及び主な原資産の種類別の内訳
該当ありません。

⑦保有する証券化エクスポージャーの適切な数のリスク・ウェイトの区分ごとの残高及び所要自己資本の額等
該当ありません。

⑧証券化取引に伴い増加した自己資本に相当する額及び原資産の種類別の内訳
該当ありません。

⑨早期償還条項付の証券化エクスポージャーを対象とする実行済みの信用供与の額
該当ありません。

⑩保有する再証券化エクスポージャーに対する信用リスク削減手法の適用の有無
該当ありません。

⑪証券化エクスポージャーに関する経過措置の適用により算出される信用リスク・アセットの額
該当ありません。

ロ. 投資家の場合(信用リスク・アセットの算出対象となる証券化エクスポージャーに関する事項)

①保有する証券化エクスポージャーの額及び主な原資産の種類別の内訳
a.証券化エクスポージャー(再証券化エクスポージャーを除く)

(単位:百万円)

	平成25年3月末	平成25年9月末
証券化エクスポージャーの額	500	—
(i)劣後ローン等	500	—

(注)すべてオン・バランス取引であり、オフ・バランス取引はありません。

b.再証券化エクスポージャー
該当ありません。

②保有する証券化エクスポージャーの適切な数のリスク・ウェイトの区分ごとの残高及び所要自己資本の額等
a.証券化エクスポージャー(再証券化エクスポージャーを除く)

(単位:百万円)

告示で定めるリスク・ウェイト区分 (%)	エクスポージャー残高		所要自己資本の額	
	平成25年3月末	平成25年9月末	平成25年3月末	平成25年9月末
20%	—	—	—	—
50%	500	—	10	—
100%	—	—	—	—
350%	—	—	—	—
自己資本控除	—	—	—	—

(注)1.所要自己資本の額=エクスポージャー残高×リスク・ウェイト×4%
2.すべてオン・バランス取引であり、オフ・バランス取引はありません。

b.再証券化エクスポージャー
該当ありません。

③保有する再証券化エクスポージャーに対する信用リスク削減手法の適用の有無
該当ありません。

④証券化エクスポージャーに関する経過措置の適用により算出される信用リスク・アセットの額
該当ありません。

(7) 出資等エクスポージャーに関する事項

イ. 出資等エクスポージャーの貸借対照表計上額等

(単位:百万円)

		売買目的有価証券		その他有価証券で時価のあるもの					貸借対照表計上額
		貸借対照表計上額	当期の損益に含まれた評価差額	取得原価(償却原価)	貸借対照表計上額	評価差額	うち益	うち損	
上場株式等	平成25年3月末	—	—	5,806	8,695	2,889	2,955	65	—
	平成25年9月末	—	—	8,348	11,725	3,377	3,455	78	—
非上場株式等	平成25年3月末	—	—	29	29	0	0	0	5,868
	平成25年9月末	—	—	29	29	—	—	—	5,883
合計	平成25年3月末	—	—	5,836	8,725	2,889	2,955	65	5,868
	平成25年9月末	—	—	8,377	11,754	3,377	3,455	78	5,883

(注)1.貸借対照表計上額は、期末日における市場価格等に基づいています。
2.投資信託の出資等エクスポージャーは上場株式等を含めて表示しています。

ロ. 子会社株式及び関連会社株式の貸借対照表計上額等

(単位:百万円)

		貸借対照表計上額	時価	差額	うち益	
					うち益	うち損
子会社・子法人等株式	平成25年3月末	49	—	—	—	—
	平成25年9月末	49	—	—	—	—
関連法人等株式	平成25年3月末	—	—	—	—	—
	平成25年9月末	—	—	—	—	—
合計	平成25年3月末	49	—	—	—	—
	平成25年9月末	49	—	—	—	—

(注)子会社・子法人等株式には、時価のあるものを保有していません。

ハ. 出資等エクスポージャーの売却及び償却に伴う損益の額

(単位:百万円)

		売却額			株式等償却
		売却益	売却損		
出資等エクスポージャー	平成24年度	2,740	43	786	5
	平成25年度上半期	330	479	—	—

(8) 金利リスクに関する事項

市場リスクのリスク量 (VaR)

(単位:百万円)

	平成25年3月末	平成25年9月末
市場リスクのリスク量 (VaR) (銀行勘定の金利リスクも含みます)	28,827	28,811

(注)1.市場リスクのリスク量 (VaR) は、①有価証券:観測期間5年、信頼区間99%、保有期間半年、②預金・貸出金等:観測期間5年、信頼区間99%、保有期間1年とした場合の予想最大損失額です。
2.債券と株式等の相関は考慮していますが、コア預金については考慮していません。
3.運用勘定、調達勘定のリスク量を相殺して算出しています。

(参考) アウトライヤー基準に基づく銀行勘定の金利リスク量

(単位:百万円)

	平成25年3月末	平成25年9月末
アウトライヤー基準に基づく銀行勘定の金利リスク量	5,391	7,531

(注)1.アウトライヤー基準に基づく銀行勘定の金利リスク量は、保有期間1年、5年の観測期間で計測される金利変動の99パーセンタイル値を採用し、コア預金は、現残高の50%相当額、満期は5年以内(平均2.5年)として計算しています。パーセンタイルとは、データを小さいものから大きいものへ順番に並べたとき、特定のデータが小さいほうから見てどのくらいの位置にあるかをパーセントで表したものをいいます。たとえば、99パーセンタイル値とは、100個のデータを大小順に並び替えたときの小さいほうから99番目の値のことをいいます。
2.運用勘定、調達勘定のリスク量を相殺して算出しています。

トピックス

平成25年度上半期の主な取り組み

4月	1日	平成25年度入庫式(新入職員33名)
	4日	インドネシア国際銀行(BI)と業務提携契約を締結
	12日	スマートフォン向け専用サイトの新設
	19日	「へきしん年金友の会日帰りバスツアー」の実施
5月	20日	総合警備保障株式会社と海外セキュリティ分野における業務提携契約を締結
	20日	セコム株式会社と海外セキュリティ分野における業務提携契約を締結
	22~24日	陸上自衛隊豊川駐屯地で新入職員研修の実施
	31日	地元警察署の署員の皆さまを対象にマナー講習の実施
	1,2日	有松絞りまつりに浴衣姿でボランティア参加
	7日	へきしん事業継承セミナーの開催
	10日	「笑顔の定期2013夏」の取扱開始
	17日	「へきしんドリームがらす定期積金」の取扱開始
6月	18日	第63期通常総代会の開催
	18日	2013年3月期(平成24年度)決算発表
	24日	刈谷北支店を新築オープン
	25日	名古屋市のとのがん対策に関する協力協定書の締結
	26日	東海財務局より海外子会社向け直接融資に関する認可を取得
	30日	しんきん愛知プラットフォームへ参加
7月	1日	ローンプラザ豊明の新設
	1日	「へきしん投信インターネットサービス」の取扱開始
	1日	「教育資金専用口座」の取扱開始
	19日	2013年版ディスクロージャー誌の発行
8月	6日	2013年度第1四半期経営情報の開示
	7日	へきしん夏休み親子職場体験の開催
	10日	安城市子ども会ソフトボール・フットベースボール中央大会にボランティア参加
9月	2~10日	平成25年度インターンシップ(職業体験研修)の実施
	13,14日	資産運用セミナーの開催
	17日	エコアクション21環境活動レポートの公表

第63期通常総代会の開催



6月18日に多くの総代の方にご参加いただき「第63期通常総代会」を開催しました。総代会では大型スクリーンを使用して視覚的に分かりやすい事業報告に努めています。総代会終了後には日本総合研究所理事長寺島実郎氏による経済講演を開催しました。



寺島実郎氏による経済講演「世界の構造転換と日本の針路」

へきしん夏休み親子職場体験の開催

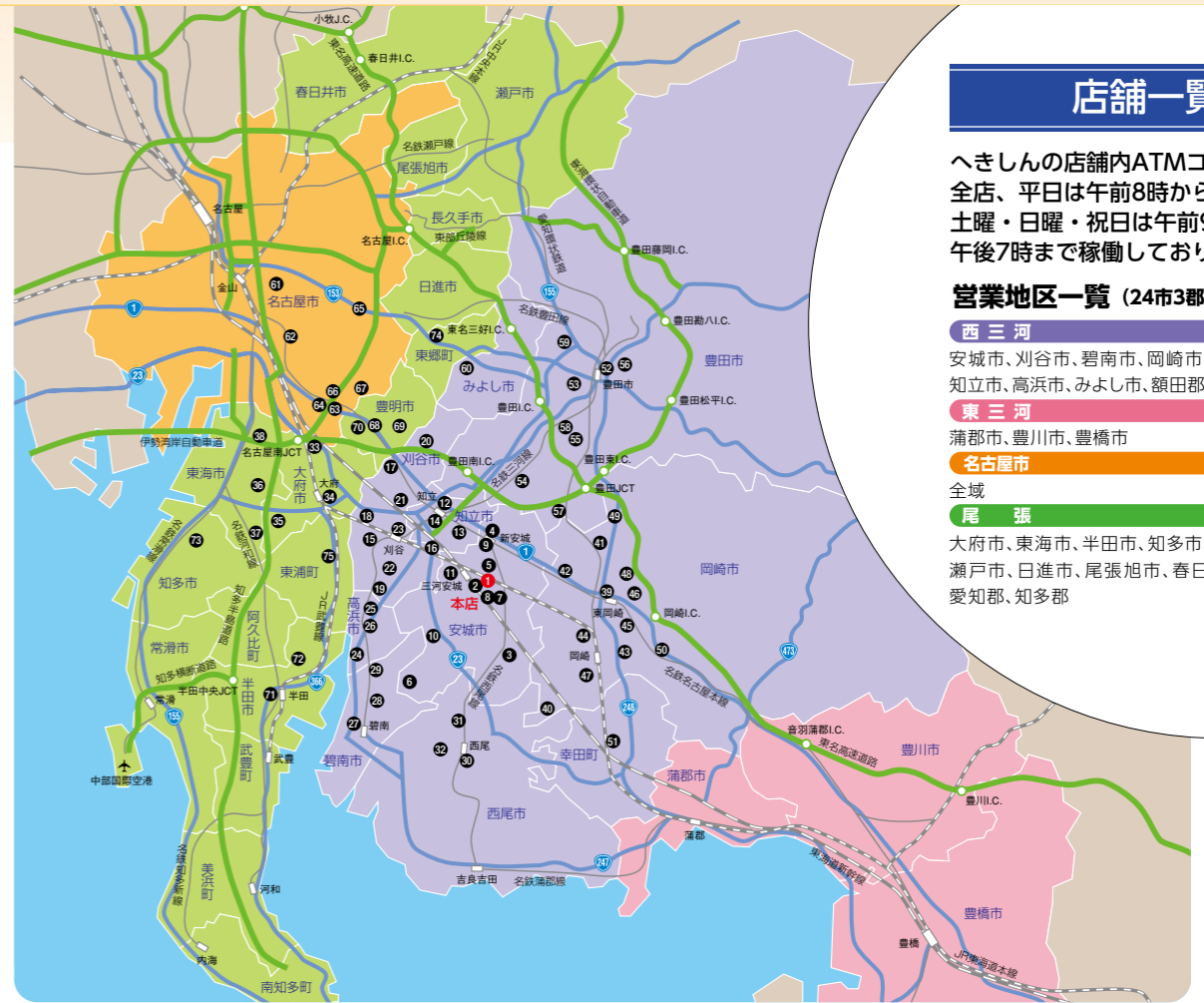
職員の子供に親の働く環境を理解してもらい、職員と家族のコミュニケーションを深めるとともに金融について知識を身につけてもらうため、職場体験を開催しました。参加した子供からは「お父さん・お母さんが毎日一生懸命頑張っていることが分かってよかったです。」など感想をいただきました。



平成25年度インターンシップ(職業体験研修)の実施



地域の大学生の皆さまに信用金庫業務を体験してもらうことで、自己の適性を把握するとともに将来の職業選択に役立てていただけるよう、インターンシップ(就業体験)の受け入れを実施しています。ビジネスマナー研修、金融商品研修、業務研修、営業店業務実習など多くの体験をしていただきました。



店舗一覧

へきしんの店舗内ATMコーナーは、全店、平日は午前8時から午後9時まで、土曜・日曜・祝日は午前9時から午後7時まで稼働しております。

営業地区一覧(24市3郡)

- 西三河**
安城市、刈谷市、碧南市、岡崎市、豊田市、西尾市、知立市、高浜市、みよし市、額田郡
- 東三河**
蒲郡市、豊川市、豊橋市
- 名古屋**
全域
- 尾張**
大府市、東海市、半田市、知多市、豊明市、常滑市、瀬戸市、日進市、尾張旭市、春日井市、長久手市、愛知郡、知多郡

(平成25年10月末現在)

店名	店番	所在地	電話番号	店名	店番	所在地	電話番号
●本	部	安城市御幸本町15番1号	0566(77)8101	岡崎市			12店舗
●事務センター		安城市今本町4丁目7番3号	0566(98)5666	⑨岡崎支店	009	康生通南1丁目1番地	0564(21)9211
安城市			11店舗	⑩中島支店	007	中島町字葉師15番地1	0564(43)2573
◆1本店営業部	001	御幸本町15番1号	0566(77)8111	⑪岡崎北支店	020	大樹寺1丁目1番地6	0564(24)3311
◆2本店営業部	002	桜井18番23号(安城市役所内)	0566(71)1660	◆12矢作支店	023	東大友町字松花45番地	0564(32)1211
◆3桜井支店	005	桜井町西町下32番地1	0566(99)0855	⑬岡崎南支店	032	羽根東町3丁目2番地5	0564(53)8311
◆4今村支店	013	東栄町2丁目503番地2	0566(97)8321	⑭上和田支店	040	上和田町字サジ23番地1	0564(54)2381
◆5サルビア支店	025	大東町17番11号	0566(74)1211	⑮亀美丘支店	043	亀美台2丁目9番地2	0564(54)1211
(ローンプラザ安城)		大東町17番11号[サルビア支店2階]	0120(501)635	⑯岡崎東支店	044	欠町字札木58番地	0564(25)3111
◆6東端支店	027	東端町数崎25番地1	0566(48)3331	⑰福岡支店	049	福岡町字西後田68番地1	0564(52)5321
◆7南安城支店	028	日の出町7番5号	0566(75)1181	⑱稲熊支店	057	稲熊町字2丁目110番地1	0564(26)2822
◆8城南支店	037	城南町1丁目4番地15	0566(76)4511	⑲岩津支店	061	西蔵前町1丁目6番地8	0564(45)3755
◆9新安城支店	045	今池町2丁目1番23号	0566(98)6161	⑳美合支店	063	養川新町2丁目1番地2	0564(52)3477
◆10和泉支店	046	和泉町中北92番地5	0566(92)4800	額田郡			1店舗
◆11三河安城支店	071	三河安城本町2丁目5番地11	0566(72)5151	①幸田支店	035	幸田町大字薺池字大山25番地1	0564(62)7611
知立市			3店舗	豊田市			8店舗
◆12知立支店	002	新地町東新地56番地	0566(81)1337	◆13豊田支店	012	喜多町5丁目55番地	0565(32)5001
⑬南陽支店	041	南陽2丁目12番地	0566(82)2566	⑭豊田西支店	022	小川町1丁目11番地2	0565(33)3133
⑭知立南支店	073	南新地3丁目6番地20	0566(81)8511	◆15高岡支店	024	若林東町高根下88番地	0565(53)1211
刈谷市			9店舗	⑮豊田南支店	029	大林町11丁目2番地1	0565(27)3737
⑮刈谷支店	003	新栄町6丁目43番地	0566(21)3461	⑯豊田東支店	051	上野町4丁目2番地8	0565(88)2277
⑯東刈谷支店	021	板倉町1丁目7番地1	0566(23)5531	⑰上郷支店	056	上郷町3丁目2番地1	0565(21)5757
⑰富士松支店	026	今川町上池73番地1	0566(36)6161	⑱豊田寿町支店	067	寿町3丁目5番地1	0565(24)3611
⑱刈谷北支店	034	高倉町1丁目207番地	0566(24)2711	⑳豊田朝日支店	069	朝日町3丁目5番地2	0565(32)8171
⑲小垣江支店	048	小垣江町中伊勢山26番地9	0566(21)7100	みよし市			1店舗
⑳東境支店	054	東境町昭山60番地3	0566(36)1147	①みよし支店	017	三好町上259番地	0561(34)2551
㉑一ツ木支店	055	築地町1丁目2番地2	0566(25)1115	名古屋			7店舗
㉒刈谷南支店	060	高須町1丁目7番地14	0566(25)2788	①名古屋支店	075	昭和区広見町4丁目43番	052(859)1015
㉒刈谷幸町支店	068	幸町2丁目5番地8	0566(29)0311	②名古屋南支店	011	南区桜本町15番地の2	052(821)7706
高浜市			3店舗	◆16有松支店	006	緑区有松3010番地	052(621)4131
◆16高浜支店	004	碧海町4丁目3番地21	0566(53)1324	⑬鳴海支店	010	緑区鳴海町字向田243番地	052(621)3181
⑬吉浜支店	033	屋敷町1丁目8番地10	0566(52)5511	⑭天白支店	030	天白区池場3丁目1708番地	052(802)6311
⑭高浜中央支店	053	沢渡町1丁目5番地19	0566(52)5231	⑮緑支店	052	緑区鳴海町字宿地43番地1	052(624)6688
碧南市			3店舗	⑯鳴海東支店	072	緑区稲山3丁目308番地	052(877)2221
⑰碧南支店	008	本郷町1丁目33番地	0566(42)1231	豊明市			3店舗
⑱碧南中央支店	042	幸町6丁目1番地3	0566(48)3171	◆18豊明支店	014	前後町善江1657番地10	0562(97)6121
⑲北新川支店	062	西山町5丁目45番地	0566(41)8900	(ローンプラザ豊明)		前後町善江1657番地10[豊明支店2階]	0120(512)5116
西尾市			3店舗	⑱豊明北支店	038	新田町吉地1番地の1	0562(93)1511
⑳西尾支店	019	寄住町下田19番地	0563(56)5551	⑳豊明南支店	065	新栄町3丁目409番地1	0562(97)7211
㉑西尾北支店	036	緑町5丁目73番地	0563(54)5251	半田市			2店舗
㉒西尾西支店	059	山下町東八幡山68番地8	0563(57)8371	①半田支店	064	昭利町2丁目12番地1	0569(24)6655
大府市			3店舗	②乙川支店	058	飯森町18番地2	0569(23)6565
⑳大府支店	015	共栄町9丁目4番地8	0562(47)2335	知多市			1店舗
㉑大府中央支店	047	中央町6丁目37番地	0562(46)8211	①知多支店	070	にし台4丁目6番地16	0562(56)3701
㉒大府西支店	074	半月町2丁目115番地	0562(44)7500	愛知郡			1店舗
東海市			3店舗	①東郷支店	018	東郷町和合ヶ丘1丁目5番地4	0561(38)1011
⑳東海支店	016	富木島町外面7番地3	052(604)3811	知多郡			1店舗
㉑加木屋支店	050	加木屋町1丁目298番地	0562(34)1012	①東浦支店	039	東浦町大字緒川字家下9番地の5	0562(83)1223
㉒東海北支店	066	名和町山東11番地1	052(604)3201				◆外貨両替店舗

フリーダイヤルのご案内

※通話料無料ですのでお気軽にご相談ください。

●音声自動案内フリーダイヤル 代表番号 ☎ 0120-552-773

ご相談窓口番号	お問い合わせ内容	お問い合わせ時間
1	キャッシュカード・通帳等の盗難、紛失などの手続き (営業時間内は取引店で受付いたします)	24時間受付しております
2	ATMコーナー・キャッシュカードに関するお問い合わせ	平 日 9時～17時
3	各種手数料のご案内	
4	住宅ローン・消費者ローンのご相談	
5	公共債・投資信託等証券取引に関するお問い合わせ	
6	外貨預金・外貨両替・海外ビジネスに関するお問い合わせ	
7	個人情報の開示・訂正等、利用停止等に関するお問い合わせ	
8	上記以外の営業(商品・サービス等)に関するお問い合わせ	

※1を除き12月31日～1月3日は休日となります。

●直通フリーダイヤル

お問い合わせ内容	お問い合わせ番号	お問い合わせ時間
お客様相談(ご要望・苦情等)	☎ 0120-834-587	平 日 9時～17時
電子記録債権サービス(でんさい)に関するお問い合わせ	☎ 0120-166-080	平 日 8時45分～19時
インターネットバンキングに関するお問い合わせ	☎ 0120-539-539	平 日 9時～17時
投信インターネットサービスに関するお問い合わせ	☎ 0120-968-310	
採用・募集に関するお問い合わせ	☎ 0120-775-922	
振り込み詐欺救済法のご照会・ご相談	☎ 0120-611-540	
貸付条件の変更等に関する苦情・ご相談	☎ 0120-365-522	
企業経営に関するご相談	☎ 0120-115-004	

※12月31日～1月3日は休日となります。

休日相談窓口のご案内

開催場所	お問合せ・ご予約	相談内容	開催日	開催時間
ローンプラザ安城 (サルビア支店2階) 安城市大東町17番11号	☎ 0120-501-635 (月火木金土日の9時～17時) 水曜・祝日(土日を除く)・振替休日・年末年始 等はお休みさせていただきます。	ローン・融資	毎週 土曜日 日曜日	9時～17時
		年金	毎週土曜日	
ローンプラザ豊明 (豊明支店2階) 豊明市前後町善江1657番地10	☎ 0120-512-516 (月火木金土日の9時～17時) 水曜・祝日(土日を除く)・振替休日・年末年始 等はお休みさせていただきます。	ローン・融資	毎週 土曜日 日曜日	9時～17時
		年金	毎週土曜日	
岡崎支店 岡崎市康生通南1丁目1番地	☎ 0120-967-511 (月～金・日の9時～15時)	ローン・融資	毎週日曜日	9時～16時
豊田支店 豊田市喜多町5丁目55番地	☎ 0120-930-871 (月～金・日の9時～15時)	ローン・融資	毎週日曜日	9時～16時

※年末年始、その他金庫が定めた日はお休みとさせていただきます。



愛知県安城市御幸本町15番1号

TEL 0566(76)2131

<http://www.shinkin.co.jp/hekishin>